



↑最上級生として新しい学校を引っ張っていく新6年生の皆さん。
 4校の児童が一丸となり飛躍していくことが期待されます
 ←平野教育長から校旗を受け取る柴田校長。多くの子どもたちが
 学び羽ばたいていく姿を、学校のシンボルが見守っていきます
 ↓子どもたちが伸び伸びと学校生活を送る、真新しい校舎



東桜小学校が誕生

この春、市内の東部地区に新しい小学校が開校しました。立花、黒岩、口内、照岡の四つの小学校が統合してきた、東桜小学校です。

校舎は立花地区内に建設されました。各教室がある木造2階建ての教育棟、職員室などがある木造平屋建ての管理棟、屋内外の運動場、プール、屋外トイレが整備され、校地面積は約2万3500㎡。令和2年10月の用地造成工事から2年半かけて完成しました。

開校式と落成式は4月7日、真新しい屋内運動場で執り行われました。新2～6年生と学校関係者、地域住民ら約230人が参列。市教育委員会の平野憲教育長から柴田智子校長



新入生に歓迎の言葉を伝える(左から)小原佳園さん(立花小出身)、鈴木徠心さん(口内小出身)、多田侑叶さん(黒岩小出身)、綱川颯太郎君(照岡小出身)

へ校旗が授与されました。子どもたちは新しい校歌を高らかに歌い、開校を祝いました。

翌8日には入学式が行われ、5・6年生と保護者ら約1000人が見守る中、同校で初めての1年生29人が迎え入れられました。児童会執行部の6年生4人は「分らないことがあったら何でも聞いてください。元気いっぱい学校の作ってくださいませ」と呼びかけ、入学を歓迎。全校児童192人が、明るく大きな声で「学ばせてくださる学校、新たな歴史を刻んでいきます。」



立花小学校

明治6(1873)年、正蔵寺内に立花学校として創立。昭和29(1954)年に北上市立立花小学校へと改称、56(1981)年に現在地に移転されました。

今年3月9日には、閉校記念として地元の(株)展勝地スタッフと校内で餅つき大会を行いました。18日の閉校式には、児童や保護者ら約220人が出席。子どもたちは、149年の歴史ある学校で学んだことを誇りに歌声を響かせました。児童80人はそれぞれ市内中学校、東桜小で学校生活を送ります。

明治6(1873)年、黒岩学校として開校し、昭和29(1954)年に北上市立黒岩小学校へと改称。平成5(1993)年に現在地に新校舎を建て替え、開校から149年の歴史を歩んできました。また、「めでた舞」は伝統芸能として踊り継がれました。

3月19日の閉校式には、児童や保護者ら約200人が出席。子どもたちは、同校の賛歌「虹の架け橋」を歌い上げ、記念碑除幕とバルーンリリースを行いました。児童39人は東陵中へ進学、東桜小へ進級して学校生活を送ります。

黒岩小学校



口内小学校

明治6(1873)年、浮牛城内に公立上口内小学校が開校し、41(1908)年に現在地へ移転。昭和29(1954)年に北上市立口内小学校へと改称されました。

3月18日に同校で行われた閉校式には、児童や保護者ら約200人が出席。子どもたちは教職員手作りの思い出のリボンを胸に付け、学びやでの思い出をよびかけで発表しました。式後は149年の歴史を示す記念碑の除幕を行いました。児童29人はそれぞれ東陵中、東桜小などで学びます。

昭和30(1955)年、北上市立照岡小学校として創立し、39(1964)年に北上市と江刺市(当時)の境に新校舎が完成。開校以来67年間、両市から児童が通い、二つの市の懸け橋となりました。また、地域の伝統芸能にも精力的に取り組みました。

3月19日の閉校式には、児童や保護者ら約250人が出席。子どもたちは、「元気、やる気、根気」の照小三気を忘れずに進むことを誓いました。児童55人はそれぞれ市内中学校と東桜小、市外の小中学校で学びます。

照岡小学校



ありがとう
東部地区4校閉校
我が母校